



基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・合材、廃材、アスファルト殻について積極的に再利用を行っている。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所についてはLED照明を採用している。使用料は、熊本県の「簡易計算シート」をもとに把握し、節電に取り組んでいる。								7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車をHV車を導入していく。 ・排ガス対策型機械の使用を行っている。温室効果ガスの削減には、熊本県の「簡易計算シート」をもとに把握している。			2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・材料、アスファルト殻の再利用を徹底し、自社活動が環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。 ・重機、車両のアイドリングストップを徹底している。						6.6										14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・廃材、アスファルト殻について積極的に再利用を行っている。又、材料も再生材料などを使用している。 ・事務所では、ペーパーレスや裏紙の利用を積極的に行っている。											9.4					12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・施工時に排出する汚泥については回収後、適切に処理を行っている。 ・事務所では、こまめに水を止めたり、雨水をためて使用したり、節水に取り組んでいる。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5				14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生材料、再生路盤材の使用を積極的に行っている。 ・事務所内でのグリーン購入を推奨し、観葉植物は増やし、あちこちに飾っている。														9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4									12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・工事現場や現場事務所等、危険をしっかりと周知しながらも、威圧的な印象を与えないように、花壇のプランターに花や緑を飾ったり、景観保護にも力を入れている。																11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・再生エネルギーを活用した掲示板、矢印版、チューブライト、赤色ライト等の危機を積極的に使用している。									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4						11.5		13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6										9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・事務所敷地やその周辺は、樹木の植栽を行い、緑の創出と保全、管理、景観保護にも取り組んでいる。							6.1 6.3 6.6										11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																				12.2 12.5		14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・新しく購入する社有車をできる限りHV車に変更している。																	9.4		11.2		13.1 13.3	
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・プラスチックの使用削減の観点から、現場ではなるべくジョグを持参し、紙パック飲料の購入やTパックを使用した飲料等、積極的に行っている。										7.1 7.2 7.3 7.a							9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.2

